



平成 26 年 7 月 2 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 V O Y A G E G R O U P
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 兼 C E O 宇 佐 美 進 典
(コード番号：3688 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 永 岡 英 則
(TEL. 03-5459-4226)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 26 年 7 月 2 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の業績予想は、次のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円・%)

項 目	決算期	平成 26 年 9 月期 (予想)		平成 26 年 9 月期 第 2 四半期累計期間 (実績)		平成 25 年 9 月期 (実績)		
		構成比	対前期 増減率	構成比	構成比			
売 上 高		14,000	100.0	+42.0	7,283	100.0	9,858	100.0
営 業 利 益		1,500	10.7	+179.7	991	13.6	536	5.4
経 常 利 益		1,504	10.7	+184.3	1,002	13.8	529	5.4
当 期 (四 半 期) 純 利 益		900	6.4	+190.8	601	8.3	309	3.1
1 株 当 たり 当 期 (四 半 期) 純 利 益		84 円 69 銭		57 円 61 銭		23 円 97 銭		
1 株 当 たり 配 当 金		0 円 00 銭		0 円 00 銭		0 円 00 銭		

- (注) 1. 平成 25 年 9 月期 (実績) 及び平成 26 年 9 月期第 2 四半期累計期間 (実績) の 1 株当たり当期 (四半期) 純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。平成 26 年 9 月期 (予想) の 1 株当たり当期純利益は公募予定株式数 (500,000 株) を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。
2. 平成 26 年 3 月 27 日付で、普通株式 1 株につき 600 株の株式分割を行っております。上記では、平成 25 年 9 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期 (四半期) 純利益を算出しております。

ご注意：この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。



平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月2日

上場会社名 株式会社VOYAGE GROUP 上場取引所 東
 コード番号 3688 URL http://voyagegroup.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 宇佐美 進典
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 永岡 英則 TEL 03 (5459) 4226
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績（平成25年10月1日～平成26年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	7,283	-	991	-	1,002	-	601	-
25年9月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 820百万円 (-%) 25年9月期第2四半期 -100百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	57.61	-
25年9月期第2四半期	-	-

(注) 当社は第2四半期の業績開示を平成26年9月期より行っているため、平成25年9月期第2四半期の記載及び平成26年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第2四半期	7,915	2,740	31.5
25年9月期	6,445	1,872	25.2

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 2,491百万円 25年9月期 1,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
26年9月期	-	0.00	-	-	-
26年9月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想（平成25年10月1日～平成26年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	42.0	1,500	179.7	1,504	184.3	900	190.8	84.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年3月12日開催の取締役会において、平成26年3月27日を基準日とする普通株式1株につき600株の割合をもって株式分割を行うことを決議いたしました。なお、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年9月期2Q	10,559,100株	25年9月期	13,436,400株
② 期末自己株式数	26年9月期2Q	一株	25年9月期	3,048,300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年9月期2Q	10,444,473株	25年9月期2Q	一株

当社は、平成26年3月12日開催の取締役会において、平成26年3月27日を基準日とする普通株式1株につき600株の割合をもって株式分割を行うことを決議いたしました。なお、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、現政権による経済対策や日銀による金融政策の効果に対する期待感から、景気回復の動きが見られるものの、海外における経済不安や今春の消費増税による影響等を受け、依然として不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、次のような諸施策を実施いたしました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,283百万円、営業利益は991百万円、経常利益は1,002百万円、当四半期純利益は601百万円となりました。

なお、当社グループは、第2四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、前年同期間との対比は行っておりません。

当第2四半期連結累計期間の営業概況は以下のとおりであります。

①メディア事業

メディア事業は、「ECナビ」「PeX」「リサーチパネル」を中心とした会員向けの事業が堅調に推移しました。これらのメディアにおきまして、新規会員の獲得や会員の定着率を向上させる施策の実施により、アクティブユーザー数は順調に増加しております。また、会員一人当たりの収益性も継続的な施策の実施により増加しております。

さらに、スマートフォン向けメディア事業においても、メディアの立ち上げや利便性を高める取り組みにより、順調に利用者数が増加しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるメディア事業の売上高は3,816百万円、セグメント利益は539百万円となっております。

②アドテクノロジー事業

アドテクノロジー事業は、国内景気の回復期待感から広告市場の活性化に支えられ堅調に推移しております。インターネット広告市場においては、広告主はより費用対効果の高い施策を求め、また、広告を掲載する媒体社ではより効率的な広告収益の最大化に対する需要が高まっております。このような状況のなか、当社は、これまでのメディア事業展開で培ったノウハウを最大限に活用し、SSP（Supply-Side Platform）である「Fluct」を軸に営業活動を続けてまいりました。SSPにおいては、媒体社の広告収益を最大化するための仕組み作りや利便性向上の施策により、媒体社数の増加及びそれに伴う広告主からの利用率、信用の向上により堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるアドテクノロジー事業の売上高は3,409百万円、セグメント利益は499百万円となっております。

③その他インターネット関連事業

その他インターネット関連事業は、グローバルでのオンライン調査パネル提供事業において、各営業拠点での活動を強化する一方で、広告宣伝費の費用対効果を精査する等、事業の収益化を推し進めてまいりました。

また、ソーシャルメディア利用者の大幅な増加を背景として、企業向けソーシャルメディアマーケティング支援事業が堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるその他インターネット関連事業の売上高は626百万円、セグメント損失は47百万円となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び総資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末より1,470百万円増加し、7,915百万円となりました。

これは主にネット広告市場の活発な取引を背景に売上が伸長したため増加した現金及び預金、売掛金等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末より601百万円増加し、5,174百万円となりました。

これは主に売上高の増加に伴う買掛金、ポイント引当金及び未払法人税等の増加等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末より868百万円増加し、2,740百万円となりました。

これは主に当四半期純利益の計上によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末より548百万円増加し、3,275百万円となりました。

当第2四半期連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは881百万円の増加となりました。主な要因は、売掛金の増加529百万円及び法人税等の支払額137百万円により資金が減少したものの、税金等調整前当期純利益988百万円の計上及びポイント引当金の増加171百万円等により資金が増加したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは240百万円の減少となりました。主な要因は、定期預金の払戻による収入100百万円による増加が生じたものの、関係会社株式の取得による支出240百万円及び有形固定資産の取得による支出59百万円の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは91百万円の減少となりました。主な要因は、ストックオプションの行使による収入49百万円による増加が生じたものの、長期借入金の返済による支出141百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえた見直しを行いました結果、平成26年9月期の連結業績予想を売上高14,000百万円（前年同期比42.0%増）、営業利益1,500百万円（同179.7%増）、経常利益1,504百万円（同184.3%増）、当期純利益900百万円（同190.8%増）と見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,843,058	3,275,436
売掛金	1,156,286	1,675,166
貯蔵品	401,342	302,009
その他	538,727	578,466
貸倒引当金	△266	△176
流動資産合計	4,939,147	5,830,901
固定資産		
有形固定資産	141,950	156,542
無形固定資産	212,821	174,300
投資その他の資産		
投資有価証券	987,303	1,581,784
その他	190,270	198,086
貸倒引当金	△26,134	△26,067
投資その他の資産合計	1,151,440	1,753,803
固定資産合計	1,506,211	2,084,646
資産合計	6,445,359	7,915,548
負債の部		
流動負債		
買掛金	422,219	532,804
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	258,340	233,340
ポイント引当金	2,283,788	2,455,632
賞与引当金	—	60,000
未払法人税等	137,697	379,081
その他	497,561	490,974
流動負債合計	3,999,606	4,551,832
固定負債		
長期借入金	293,040	176,370
資産除去債務	50,440	50,560
その他	229,972	396,179
固定負債合計	573,452	623,109
負債合計	4,573,059	5,174,942

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	372,627	372,627
資本剰余金	377,117	352,722
利益剰余金	1,602,303	1,050,072
自己株式	△1,231,447	—
株主資本合計	1,120,601	1,775,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	495,353	702,622
為替換算調整勘定	10,384	13,328
その他の包括利益累計額合計	505,737	715,950
新株予約権	2,166	1,083
少数株主持分	243,794	248,149
純資産合計	1,872,300	2,740,605
負債純資産合計	6,445,359	7,915,548

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	7,283,793
売上原価	4,285,366
売上総利益	2,998,427
販売費及び一般管理費	2,006,799
営業利益	991,627
営業外収益	
受取配当金	4,300
還付加算金	4,206
持分法による投資利益	2,217
その他	3,402
営業外収益合計	14,126
営業外費用	
支払利息	2,773
その他	35
営業外費用合計	2,809
経常利益	1,002,944
特別損失	
減損損失	12,587
その他	1,771
特別損失合計	14,358
税金等調整前四半期純利益	988,586
法人税等	378,764
少数株主損益調整前四半期純利益	609,821
少数株主利益	8,041
四半期純利益	601,779

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	609,821
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	207,268
為替換算調整勘定	1,631
持分法適用会社に対する持分相当額	1,410
その他の包括利益合計	210,311
四半期包括利益	820,132
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	811,992
少数株主に係る四半期包括利益	8,140

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成25年10月1日
 至 平成26年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	988,586
減価償却費	78,207
減損損失	12,587
のれん償却額	3,495
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△156
賞与引当金の増減額 (△は減少)	60,000
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	171,859
受取利息及び受取配当金	△4,719
支払利息	2,773
持分法による投資損益 (△は益)	△2,217
売上債権の増減額 (△は増加)	△529,692
たな卸資産の増減額 (△は増加)	99,905
仕入債務の増減額 (△は減少)	108,674
その他	27,975
小計	1,017,279
利息及び配当金の受取額	4,739
利息の支払額	△2,807
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△137,409
営業活動によるキャッシュ・フロー	881,801
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	100,000
有形固定資産の取得による支出	△59,586
無形固定資産の取得による支出	△21,002
投資有価証券の取得による支出	△13,802
関係会社株式の取得による支出	△240,507
貸付けによる支出	△2,679
その他	△2,582
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240,160
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△141,670
ストックオプションの行使による収入	49,732
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91,937
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,174
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	548,529
現金及び現金同等物の期首残高	2,743,058
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16,151
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,275,436

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

自己株式の消却

当社は、当第2四半期連結累計期間において、平成26年3月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式6,014.5株を消却いたしました。これにより、資本剰余金42,435千円、利益剰余金1,156,237千円及び自己株式1,198,672千円がそれぞれ減少しております。

(6) セグメント情報等

当第2四半期連結累計期間（自平成25年10月1日至平成26年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	メディア事業	アドテクノロジー事業	その他インターネット関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,304,414	3,374,781	604,598	7,283,793	—	7,283,793
セグメント間の内部売上高 又は振替高	512,101	34,942	21,849	568,893	△568,893	—
計	3,816,515	3,409,723	626,448	7,852,687	△568,893	7,283,793
セグメント利益又は損失(△)	539,986	499,609	△47,968	991,627	—	991,627

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。